**小学生(低)礼拝7月②**

**「真の愛」のすばらしさ**

今回は、天の父母様が私たちに与えてくださった、四つの愛と恋と愛の違いについてお話しします。

まずはみ言を訓読します。

**四大心情圏とは、子女の心情圏、兄弟（姉妹）の心情圏、夫婦の心情圏、父母の心情圏を意味します。人間は、この地に誰かの子女として生まれ、兄弟姉妹の関係を結びながら成長し、結婚して夫婦となり、子女を生むことによって父母となる、このような過程を経ていくようになっています。**

ここで「心情圏」という難しい言葉でていますが、この心情圏は「愛」と言い換えることができます。ですので、４つの心情圏がある、ということは、愛には４つの種類がある、ということと同じことになります

では、この四つの愛について、これから一つずつ説明していきます。

まず一つ目が子女の愛です。子女の愛とは、子供がお父さんやお母さんのことを大好き！と思う気持ちや、助けたい、喜ばせたいと思う気持ちの事を言います。家族だけでなく、学校や教会学校の先生、おじいちゃんおばあちゃんを喜ばせたいとおもう気持ちも、この子女の愛のひとつです。

二つ目は、兄弟姉妹の愛です。兄弟姉妹の愛とは、兄弟姉妹の為に生きて、喜ばせたいという気持ちの事です。これも血のつながった兄弟だけでなく、教会や学校の友達の為に生きたい、喜ばせたい！仲良くなりたい！と思う気持ちも、兄弟姉妹の愛です。

そして、三つめは、夫婦の愛です。夫婦の愛は、夫婦同士が愛し合い、お互いを喜ばせたいと思う気持ちの事を言います。

そして、四つ目が父母の愛です。この父母の愛は、親が子供を愛する気持ちの事です。

この愛も、家族だけでなく、学校の先生や、教会のスタッフのお父さんお母さんたちが、皆さんを喜ばせたい！と思ってサポートしてくれているのも父母の愛と言えます。

ここで、皆さんにクイズです！

ここで、皆さんにクイズです！

【クイズ】この四つの愛の中で、たった一人の人(対象)にだけあげる愛はどれでしょうか？

四つの中から一つだけ選んで下さい。

①子女の愛

②兄弟姉妹の愛

③夫婦の愛

④父母の愛

5秒待ちますので、考えてみてください。(5秒待つ)

皆さん、分かりましたか？

答えは、③の夫婦の愛です。夫婦の愛は、夫婦以外の人にあげてはいけないのです。

こうやってみるとわかりやすいよね。子女の愛、兄弟姉妹の愛、そして父母の愛は、家の外の他の人にあげてもいいのですが、夫婦の愛だけは絶対にあげてはだめなのです。

もし、皆のお父さんやお母さんが、自分のお父さんや、お母さん以外の人と仲良く手をつないだり、デートをしていたらどうでしょうか？「仲が良くてうれしい！」なんて思えないですよね。

この夫婦の愛は、お父さんとお母さんだけの一対一の関係であり、他の人にあげてはいけない愛なのです。ここから、もう少し詳しく夫婦の愛についてお話していきます。

この夫婦の愛は、あげることのできる「時」と、「相手」が決まっています。夫婦の愛は、皆さんが純潔を守り、心も体もきれいに保ちながら、立派な大人に成長し、天の父母様の喜ぶ結婚をした時に、初めて与え合うことができます。

また、この愛を使ってよい相手というのは、唯一、天の父母様が皆さんに準備してくれた将来の結婚相手だけです。

という事は、今皆さんは小学生ですが、夫婦の愛を誰かにあげても良い時だと思いますか？もちろん、あげてはいけないですね。

例えば、皆さんは、学校に男の子の友達も女の子の友達もいると思います。もし、その中の男の子や女の子が、二人きりで遊ぼうと誘ってきて、そして、二人きりでずっと、仲良くするのは、夫婦の愛です。

小学生の時期、中高生、大学生の時期は、一人の人と一対一で愛し合う夫婦の愛は、まだ必要ではないのです。もし、間違ってこの夫婦の愛を使ってしまったときには、天の父母様が、本当に悲しまれるのです。

夫婦の愛を、若いうちに間違って使う人は、結婚をしてからも、一人の旦那さん、一人の奥さんだけに、夫婦の愛をあげることが難しくなってしまいます。

そして結婚したのに、奥さんや、旦那さん以外の人と一対一の関係を持ってしまったら大変です。奥さんはとても悲しみます。もちろん神様も悲しみます。

なので神様のことを知らないこの世の中では、夫婦が離婚したり、家族がバラバラになってしまうことがあるのです。

今回は、子女の愛、兄弟姉妹の愛、夫婦の愛、父母の愛の四つの愛について学びました。また、夫婦の愛はあげることができる、時と相手が決まっていることを学びました。

皆さんが、大きくなって神様の喜ばれる結婚相手に出会うまで、子女の愛、兄弟姉妹の愛を成長させ、夫婦の愛を大切に守っていきましょう！